

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

# サロベツ花だより

No.1

今のおすすめは タテヤマリンドウ です

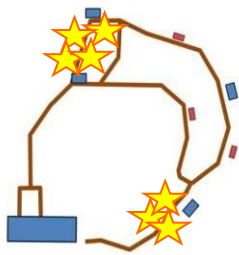


＜約 1～2 cm＞

一周約 1km

所要時間30～40分

初夏の小鳥たちの  
さえずりをききながら  
散策を楽しんでください



【発見難易度】 青色の花です

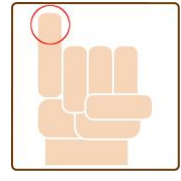
★★★★☆☆ リンドウ科

【花の高さ】

【花の大きさ】



低い(5～10cm程度)



小指の先くらい

【漢字：立山竜胆】

秋に咲く‘リンドウ’の渋い和のイメージとは違い、春のまだ茶色い湿原に星屑が散らばっているように咲きます。陽が差した午前中に開きますが、曇天や雨天時は筆先のような白い蕾に閉じるので、気づかれない花になります。まれに白色や薄赤紫色の花もあります。

ショウジョウバカマ シュロソウ科 咲いています



花火がパッと開いたような花は、ピンク色以外に、白色、濃紅色なども見られます。花は地面すれすれで咲きはじめ、茎は日に日に伸びて40～50cmくらいの高さになります。

ミツバオウレン キンポウゲ科 咲いています



花に見える部分はガクで、とても小さな黄色いしゃもじ形をしているのが花です。名前のミツバのとおり、葉が3枚です。

ミツガシワ ミツガシワ科 咲いています



葉が3枚で柏の葉の形に似ていることから名付けられました。星型の白い花が10～20輪くらい付く、水辺に咲く美しい花です。氷河期からの生き残りといわれています。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ  
認定 NPO 法人 サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950 FAX 0162-73-0360

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://www.sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね!